

2008年改訂版

徳島大学医学部保健学科概要

Introduction to
School of Health Sciences
Faculty of Medicine
The University of Tokushima



**Open
the Doors
to Your Future**

目次

学科長挨拶	1
基本理念・教育目標・教育課程の特色	2
学生受け入れ方針	3
沿革	4
教育研究組織	5
教職員	6
看護学専攻	10
放射線技術科学専攻	12
検査技術科学専攻	14
教育課程	16
授業科目一覧	17
学生定員・入学生地域別比率	18
入学試験実施状況	19
大学院(保健科学教育部)	20
助産学専攻科	22
キャンパスライフ	24
アクセス・建物配置図	25

徳島大学は、学校教育法第69条の3第2項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。(平成19年3月28日)

- 認証評価機関：独立行政法人大学評価・学位授与機構
- 認証期間：7年間(平成19年4月1日～平成26年3月31日)



ごあいさつ

徳島大学医学部保健学科は徳島大学医学部附属看護学校、診療エックス線技師学校および衛生検査技師学校を母体とし、徳島大学医療技術短期大学部を経て、平成13年10月に現在の姿となり、その歴史は長いもので58年になる伝統ある学科であります。

保健学科は看護学専攻、放射線技術科学専攻および検査技術科学専攻の3専攻からなり、保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基にチーム医療、地域医療および国際協力に貢献できる人材、また教育・研究能力をもつ人材を育成することを目的としております。平成20年度からは養護教諭一種免許状授与の所要資格を取得するためのカリキュラムを開始しました。

保健科学教育部保健学専攻（修士課程）は平成18年に設置され、同20年3月にはじめての修士修了生を世に送りだしました。またこの4月からは大学院博士後期課程がはじまり、教員も大学院ヘルスバイオサイエンス研究部に組み込まれ、高度な保健学の教育や研究をさらに推進する体制が整ったといえます。また、がん専門看護師および医学物理士を目指したカリキュラムを本年より博士前期課程（修士課程より改称）で開始するなど、今なお発展を遂げております。今後もさらに魅力ある大学・大学院の実現を目指して努力いたしますので、皆さんの入学をこころよりお待ちしております。

保健学科長
山野 修司



基本理念

高度化，専門化する医療を支え，保健・医療・福祉において多様化するニーズに対応できる有能な医療人を養成します。人間尊重の倫理に立脚した高い使命感や，専門的知識・技能と同時に，チームの一員としての協調性を有し，国際的な視野をもって医療および福祉の発展を支えることのできる人材を養成します。

教育目標

- 1) 生命倫理を基盤として，豊かな人間性と科学的思考力を備えた人材の養成。
- 2) 医療の各分野及び保健・福祉を総合的に修得した専門職者の養成。
- 3) 地域社会における保健・医療・福祉の向上に寄与し，指導的役割を果たせる人材の養成。
- 4) 医療技術分野での国際協力，国際貢献を推進できる人材の養成。
- 5) 教育・研究・管理を担える能力をもった人材の養成。

教育課程の特色

- 1) 人間形成および医療専門職者に必要な教養教育科目の履修は学生の自主的選択が可能です。
- 2) 各専攻あるいは学部を超えた学修形態で人間・環境・医療・福祉の緊密な連携をめざします。
- 3) 保健学科の全ての学生に介護，福祉に関連した科目の履修が可能です。

学生受け入れ方針

看護学専攻

国際化，高度化する医療の発展を支える看護技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに，健康の維持・増進，生活の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学および医学の知識を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ，診療放射線技師をめざす明確な目的意識を持ち，さらに医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め，放射線技術科学を通じ医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

検査技術科学専攻

医学並びに医療に対する関心が高く，豊かな人間性を持ち，医療人として臨床検査技術を身につけ，応用できる能力を育成するために，必要な基礎学力を有する人を求めています。



現在



昭和42年～47年

徳島大学医学部附属看護学校

- 昭和18年4月 徳島県立徳島医学専門学校看護婦養成所
 - 昭和20年4月 徳島医学専門学校附属医院看護婦養成所に改称
 - 昭和24年4月 徳島医科大学附属医院厚生女子部設置
 - 昭和24年5月 徳島大学医学部厚生女子部に改称
 - 昭和26年3月 徳島大学医学部附属看護学校に改称
- (平成2年3月廃止)

徳島大学医学部附属診療放射線技師学校

- 昭和35年4月 徳島大学医学部附属診療工ク線技師学校設置
 - 昭和44年4月 徳島大学医学部附属診療放射線技師学校設置
- (平成2年3月廃止)

徳島大学医学部附属臨床検査技師学校

- 昭和38年4月 徳島大学医学部附属衛生検査技師学校設置
 - 昭和47年4月 徳島大学医学部附属臨床検査技師学校設置
- (平成2年3月廃止)

徳島大学医学部附属助産婦学校

- 昭和32年4月 徳島大学医学部附属助産婦学校設置
- (平成3年3月廃止)

徳島大学大学院保健科学教育部【博士後期課程】

(平成20年4月設置)
保健学専攻

徳島大学大学院保健科学教育部【博士前期課程】

平成18年4月
修士課程設置
保健学専攻
平成20年4月
博士前期課程に改称

徳島大学助産学専攻科

(平成18年4月設置)

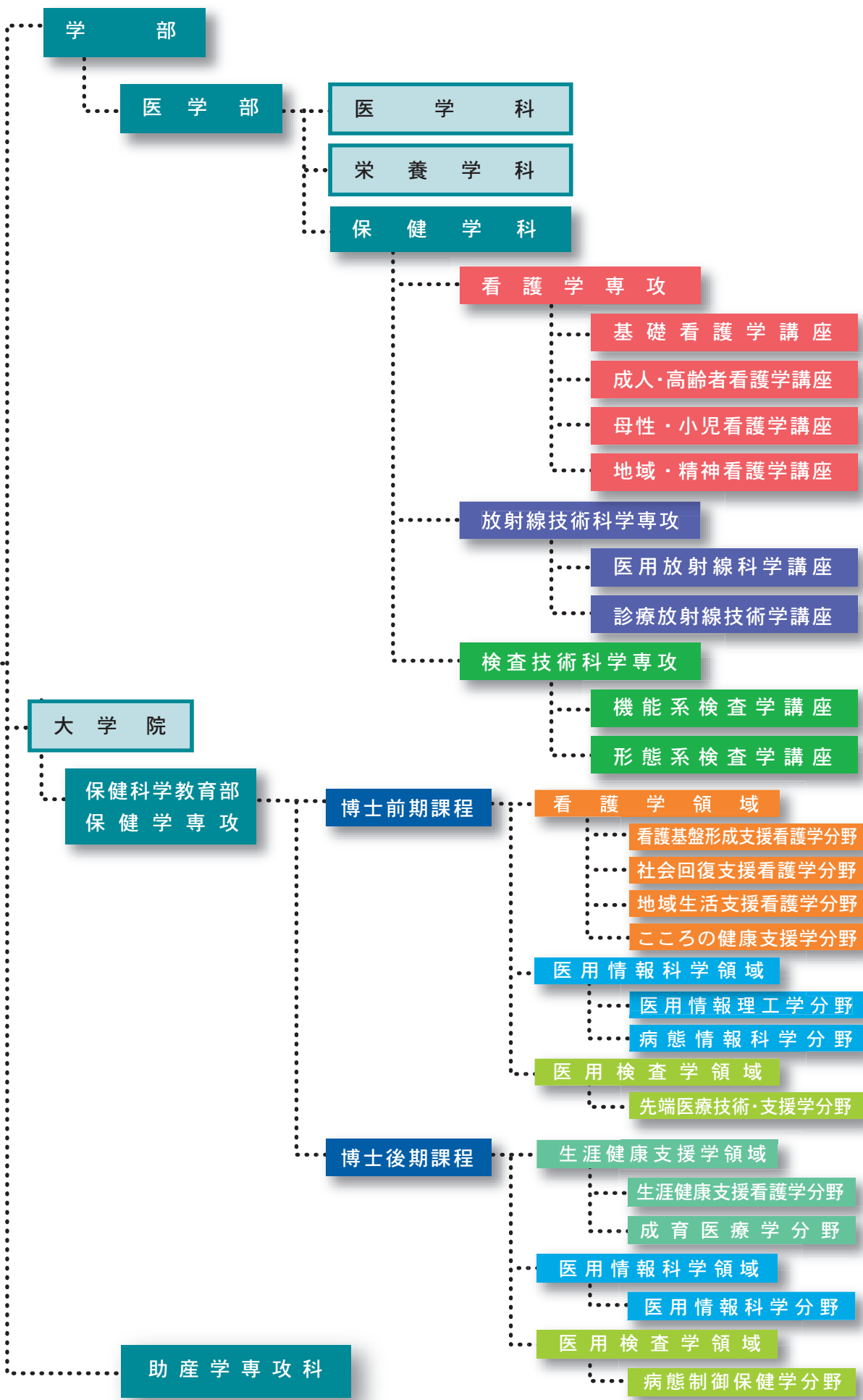
徳島大学医学部保健学科

(平成13年10月設置)
看護学専攻
放射線技術科学専攻
検査技術科学専攻

徳島大学医療技術短期大学部

(昭和62年10月設置)
看護学科
診療放射線技術学科
衛生技術学科
専攻科助産学特別専攻
(平成3年4月設置)
(平成17年3月廃止)

徳島大学



保健学科 School of Health Sciences

保健学科長 Director 山野 修司 Shuji YAMANO

職名 Position	氏名 Name	主な研究事項 Academic Field
----------------	------------	--------------------------

看護学専攻

Major in Nursing

基礎看護学

Fundamental Nursing

教授 Professor	川西 千恵美 Chiemi KAWANISHI	EBN, 看護技術 Evidence Based Nursing, Nursing Art
教授 Professor	關戸 啓子 Keiko SEKIDO	基礎看護学, 看護教育学 Fundamental Nursing, Nursing Education
教授 Professor	谷岡 哲也 Tetsuya TANIOKA	看護管理学 Nursing Management
講師 Associate Professor	岩佐 幸恵 Yukie IWASA	基礎看護学 Fundamental Nursing
助教 Assistant Professor	安原 由子 Yuko YASUHARA	基礎看護学 Fundamental Nursing

成人・高齢者看護学

Adult and Gerontological Nursing

教授 Professor	雄西 智恵美 Chiemi ONISHI	がん患者のセルフケア, ストレス緩和ケア Self-care in cancer patients, Stress-coping and palliative care
教授 Professor	近藤 和也 Kazuya KONDO	外科腫瘍学, がん医療体制 Surgical Oncology, Cancer Medical Services
教授 Professor	田村 綾子 Ayako TAMURA	リハビリテーション看護学, 成人看護学, クリティカルケア Rehabilitation Nursing, Clinical Practice in Adult Nursing, Critical Care
講師 Associate Professor	市原 多香子 Takako ICHIHARA	成人看護学, 周手術期看護, リハビリテーション看護 Clinical Practice in Adult Nursing, Surgical Nursing, Rehabilitation Nursing
講師 Associate Professor	太田 浩子 Hiroko OTA	高齢者看護学 Elderly Nursing
助教 Assistant Professor	今井 芳枝 Yoshie IMAI	成人・高齢者看護学, がんサバイバーシップ Clinical Practice in Adult and Elderly Nursing, Cancer Survivor Ship
助教 Assistant Professor	桑村 由美 Yumi KUWAMURA	成人・高齢者看護学 Clinical Practice in Adult and Elderly Nursing
助教 Assistant Professor	板東 孝枝 Takae BANDO	成人・高齢者看護学, 周手術期看護 Clinical Practice in Adult and Elderly Nursing, Perioperative nursing
助教 Assistant Professor	南川 貴子 Takako MINAGAWA	成人・高齢者看護学 Clinical Practice in Adult and Elderly Nursing

母性・小児看護学

Maternal and Pediatric Nursing

教授 Professor	岸田 佐智 Sachi KISHIDA	母性看護学, 女性の健康 Maternity Nursing, Women's Health
教授 Professor	二宮 恒夫 Tsuneo NINOMIYA	子どものこころの保健学 COCORO health science in children

教授
Professor山野 修司
Shuji YAMANO生殖補助医療, 卵の活性化, 卵の体外成熟
ART, Oocyte activation, IVM講師
Associate Professor谷 洋江
Hiroe TANI小児看護学
Child and Family Nursing助教
Assistant Professor芝崎 恵
Aya SHIBASAKI母性看護学
Maternity Nursing助教
Assistant Professor橋本 浩子
Hiroko HASHIMOTO小児看護学
Child and Family Nursing

地域・精神看護学

Community and Psychiatric Nursing

教授
Professor郷木 義子
Yoshiko GOHGI学校保健学
School Health教授
Professor多田 敏子
Toshiko TADA高齢者の生活の質に関する研究
Research on quality of life among elderly people准教授
Associate Professor奥田 紀久子
Kikuko OKUDA学校保健
School Health講師
Associate Professor廣原 紀恵
Toshie HIROHARA学校保健学
School Health講師
Associate Professor藤井 智恵子
Chieko FUJII産業看護
Occupational Health Nursing講師
Associate Professor松下 恭子
Yasuko MATSUSHITA在宅看護学
Home Care Nursing助教
Assistant Professor岡久 玲子
Reiko OKAHISA地域看護学
Community Health Nursing助教
Assistant Professor千葉 進一
Shinichi CHIBAメンタルヘルス支援学
Mental Health Nursing助教
Assistant Professor森脇 智秋
Chiaki MORIWAKI母子保健
Maternal and Child Health

医用放射線科学

Radiologic Science and Engineering

教授
Professor近藤 正
Tadashi KONDOU医用画像情報学
Medical Image Informatics教授
Professor長篠 博文
Hirofumi NAGASHINO生体医工学, 生体情報工学
Biomedical Engineering, Biocybernetics教授
Professor前澤 博
Hiroshi MAEZAWA放射線生物学, 放射線腫瘍学
Radiation Biology, Radiation Oncology教授
Professor吉永 哲哉
Tetsuya YOSHINAGA医用画像機器工学, 非線形システム工学
Medical Image Equipment Engineering, Nonlinear System Engineering准教授
Associate Professor八木 浩史
Hirofumi YAGIMMGの画質に関する研究
Study on image quality of MMG助教
Assistant Professor阪間 稔
Minoru SAKAMA核・放射化学, 核物理学, 放射線計測学
Nuclear and Radiochemistry, Nuclear Physics, Radiation Measurement助教
Assistant Professor手川 歓識
Yoshinori TEGAWA第三世代歯科補綴用磁性アタッチメントの研究
Development of Dental Magnetic Attachment toward the third Generation

職名
Position

氏名
Name

主な研究事項
Academic Field

助教
Assistant Professor

藤本 憲市
Ken'ichi FUJIMOTO

医用画像機器工学, 医用生体工学
Medical Image Equipment Engineering, Medicine and Biology

診療放射線技術学 Radiologic Technology

教授
Professor

上野 淳二
Junji UENO

放射線診断学
Diagnostic Radiology

教授
Professor

生島 仁史
Hitoshi IKUSHIMA

放射線腫瘍学, 画像誘導放射線治療
Radiation Oncology, Image Guided Radiation Therapy

教授
Professor

原田 雅史
Masafumi HARADA

画像診断手法を用いた機能・代謝解析, 分子イメージング
Molecular imaging and functional/metabolic analysis using diagnostic imaging modality

准教授
Associate Professor

久保 均
Hitoshi KUBO

画像診断技術を用いた代謝・機能画像解析
Metabolic and functional image analysis imaging technology

講師
Associate Professor

井村 裕吉
Hiroyoshi IMURA

医用画像の明暗知覚に関する研究
Contrast Perception on Medical Images

助教
Assistant Professor

高尾 正一郎
Shoichiro TAKAO

骨軟部疾患の画像診断
Musculoskeletal imaging

助教
Assistant Professor

富永 正英
Masahide TOMINAGA

CTにおける画質と患者被曝線量評価に関する研究
Evaluation of image quality and patient dose in Computed Tomography

助教
Assistant Professor

西原 貞光
Sadamitsu NISHIHARA

医療用画像における画質と被曝の評価および診断情報の付加に関する研究
Studies on image quality and patient dose in medical radiography and on extraction of additional diagnostic information

機能系検査学 Functional Laboratory Science

教授
Professor

齋藤 憲
Ken SAITO

生理検査学, ホルター心電図による心拍変動解析を利用した各種病態評価
Clinical Physiology, HRV analysis of various clinical conditions

教授
Professor

細井 英司
Eiji HOSOI

血液細胞分化過程における血液型抗原の発現機構に関する研究, 免疫細胞の細胞内Ca²⁺シグナル伝達とその機構調節に関する研究
Molecular mechanism of histo-blood group antigen expression during hematopoietic cell differentiation, Regulatory mechanism of intracellular Ca²⁺ signal transduction in immune cells

准教授
Associate Professor

西田 敏信
Toshinobu NISHIDA

基準範囲の加齢変化, e-ラーニング教材の開発
Age-Related Changes of Reference Intervals
Development of e-Learning Support System

助教
Assistant Professor

松浦 千恵子
Chieko MATSUURA

臨床細菌学
Clinical Bacteriology

形態系検査学

Morphological Laboratory Science

教授 Professor 小野 恒子
Tsuneko ONO

付着細菌の病原性と抗菌薬抵抗性に関する研究, 薬剤耐性遺伝子の伝達機構に関する研究, 病原遺伝子の迅速診断法

Mechanism of pathogenicity and antimicrobial tolerance in biofilm, Rapid detection of virulence-associated genes in pathogenic bacteria

教授 Professor 香川 典子
Noriko KAGAWA

人体病理学, 筋ジストロフィー剖検例の病理組織学的検討
Human pathologic muscular dystrophy, Histopathological study of autopsy cases in progress

准教授 Associate Professor 梅野 真由美
Mayumi UMENO

Y染色体に関する分子遺伝学的研究, 生殖補助医療
Molecular genetics in Y chromosome, Assisted Reproductive Technology

助教 Assistant Professor 濱野 修一
Shuichi HAMANO

電子スピン共鳴 (EPR) 測定法による生体高分子の酸化修飾機構の解明と, 臨床病理診断への応用
Elucidation of the mechanism for oxidative modification of biological samples by electron paramagnetic resonance spectroscopy, and its application for clinical pathology.

助産学専攻科 Graduate Course of Midwifery

助産学専攻科長 Director 山野 修司
Shuji YAMANO

職名 Position	氏名 Name	主な研究事項 Academic Field
教授 Professor	葉久 真理 Mari HAKU	理論検証, 助産実践の有効性の検証 Testing Theory (self-care, dependent-care), Effective verification of midwifery practice (meta-analysis, Breastfeeding)
准教授 Associate Professor	富安 俊子 Toshiko TOMIYASU	女子学生の月経前および月経中の症状と食生活に関する調査 A comparison of pre-menstrual and menstrual symptoms with the dietary habits of female college students
助教 Assistant Professor	竹林 桂子 Keiko TAKEBAYASHI	性教育, 親教育 Sexual Education, Childbirth Education



概要

専攻の理念

生命尊重を基調とした高潔な人格形成を図るとともに、科学性、倫理性を基盤にした看護実践ができる専門職の育成を目指します。さらに将来において看護学の教育・研究・管理を担うことができるスペシャリストの育成を目指し、保健・医療・福祉の充実や発展に寄与します。

教育目標

- 人としての権利と自由を尊重して判断・行動できる能力を養います。
- 他者との相互関係を形成・発展できる能力を養います。
- 個人あるいは集団の健康問題をアセスメントし、解決できる能力を養います。
- 保健医療福祉チームにおけるマネジメント能力を養います。

○ 看護の教育・研究・管理を担うことができる基礎的能力を養います。

○ 生涯にわたって自ら学習・研鑽する姿勢を養います。

講座紹介

基礎看護学：看護学全体に共通する哲学、目的論、対象論、方法論を看護理論を基に学びます。加えて、看護を実践する上で共通するアセスメント技術、生活援助技術、診療補助技術を学びます。基礎的な力を確実に習得するために「ヘルスアセスメント」、「看護技術」の時間を多く設けています。

成人・高齢者看護学：成人期から老年期に至る人の発達課題と生活の特徴、病気や障害による日常生活への影響、回復支援のための看護方法を学びます。また、医療施設での看護に必要なモニタリング技術や治療過程にある人に対する援助技術を学びます。さらに、社会的要請の高いがん医療に関する基礎を学習するため



に「がん看護論」、高齢者の多い地域の特徴を考慮して「リハビリテーション看護論」を設けています。

母性・小児看護学：女性の健康および妊娠・出産・育児の時期にいる女性と家族、また子どもと家族の健康を維持増進するために必要な看護援助を学びます。育児支援の重要性から「子どものメンタルヘルス」、「母児関係論」の科目を設けています。

地域・精神看護学：地域のあらゆる成長発達段階にある個人及び集団の社会的特徴、健康問題とその要因を基盤にした看護を学びます。また精神的な健康問題の予防や看護について学びます。それらを基に地域・在宅・学校・産業等の場での生活の質を維持するための、健康問題の予防・解決に必要な援助を学びます。総合的な視点でケア提供ができる看護職を目指して「ケアマネジメント」、「ケアシステム論」の科目を設けています。さらに、養護教諭一種免許状取得のための科目も開講します。

卒業後は ...

進路

- 国公立病院、大学病院
- 保健所、市町村、事業所、訪問看護ステーション
- 小・中・高等学校
- 大学院進学、助産学専攻科等への進学

取得可能な資格

- 看護師、保健師の国家試験受験資格
- 保健師国家試験合格者は、「養護教諭二種免許状授与の所要資格」および「第一種衛生管理者の所要資格」を得ることができます。
- 平成20年度入学生からは「養護教諭一種免許状授与の所要資格」を得ることができます(ただし、人数制限があります)。



概要

専攻の理念

放射線医療についてのしっかりとした基礎知識と技術を修得し、豊かな人間性と科学的な判断力を持ち、さらに将来にわたり専門的知識と個々の患者さんを意識した医療技術を自ら高め、医療現場の管理と放射線技術学の教育、研究ができる人材を養成します。

教育目標

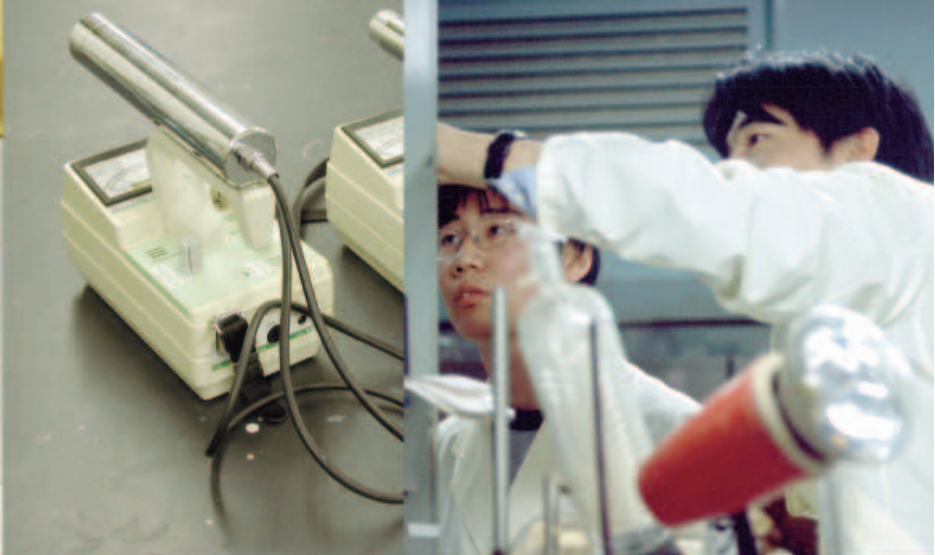
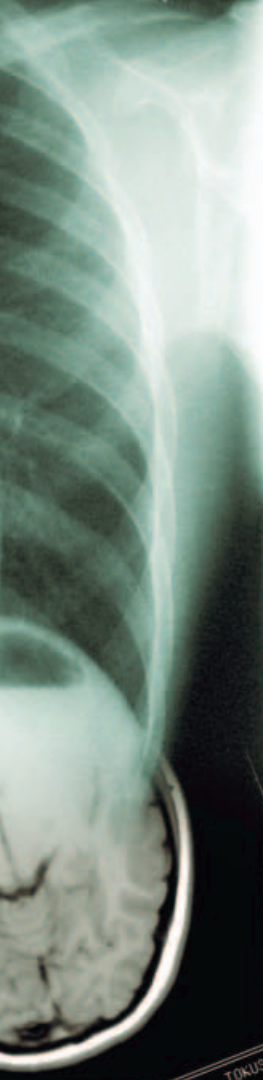
- 教員と学生の密な人間関係をもとに、豊かな人間性と幅広く深い教養を涵養します。
- 実習を通して学生が講義で学んだ知識をより深いものとするように指導します。
- 卒業研究を通して専門性と科学的思考力を深め、基礎的知識と技術を応用する能力を養います。

- 医療技術の多様化、高度化に対応して自律的に専門知識・技術を高めていく能力を養います。
- 職場においてリーダーシップのとれるメディカル・スタッフを養成します。
- 地域社会、国そして世界にボランティア精神を持って貢献できる人材を養成します。

講座紹介

医用放射線科学講座

医用・環境放射線の人体への影響、放射線計測の技術、放射線・磁気共鳴等を用いた医用画像の作成方法、および医用技術の急速な進歩に対応した生体計測技術、放射線診療・治療機器の原理と特性を学びます。また、病院医療情報の管理・提供のためのコンピュータ支援



システム、マルチメディア応用技術を学びます。

診療放射線技術学講座

X線、放射性同位元素および磁気共鳴などを用いた疾病の放射線診断法及び得られた医用画像と疾病との関連を学びます。また、放射線治療技術について腫瘍の生物学的性質と共に学びます。さらに、医用放射線機器の管理法及び関係法規などを学びます。

○ 放射線非破壊検査会社及び放射線管理部門

○ 大学院進学

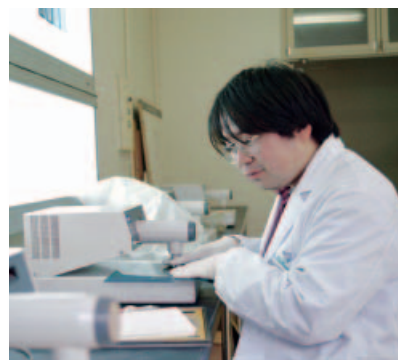
取得可能な資格

○ 診療放射線技師国家試験の受験資格

卒業後は ...

主な進路

- 国公立病院, 大学病院, 診療所
- 健診センター
- 放射線機器関連の製作, 開発, 販売会社





概要

専攻の理念

生命の尊厳、医の倫理を理解し、広い教養と専門知識を持ち、広く国民の保健医療の向上と発展に寄与できる創造性豊かな臨床検査技術者の養成を目指します。

教育目標

- 基礎教育を充実し、幅広い知識と創造性を養うことにより、生命の尊厳、医の倫理、医療の進むべき道を理解できるような全人教育を行います。
- 医療技術の専門化、高度化、多様化に柔軟に対処できるように、高度の専門的知識と技術を学びます。
- 不断の研究を通じて、医療の発展に貢献できる学際的・国際的人材を養成します。

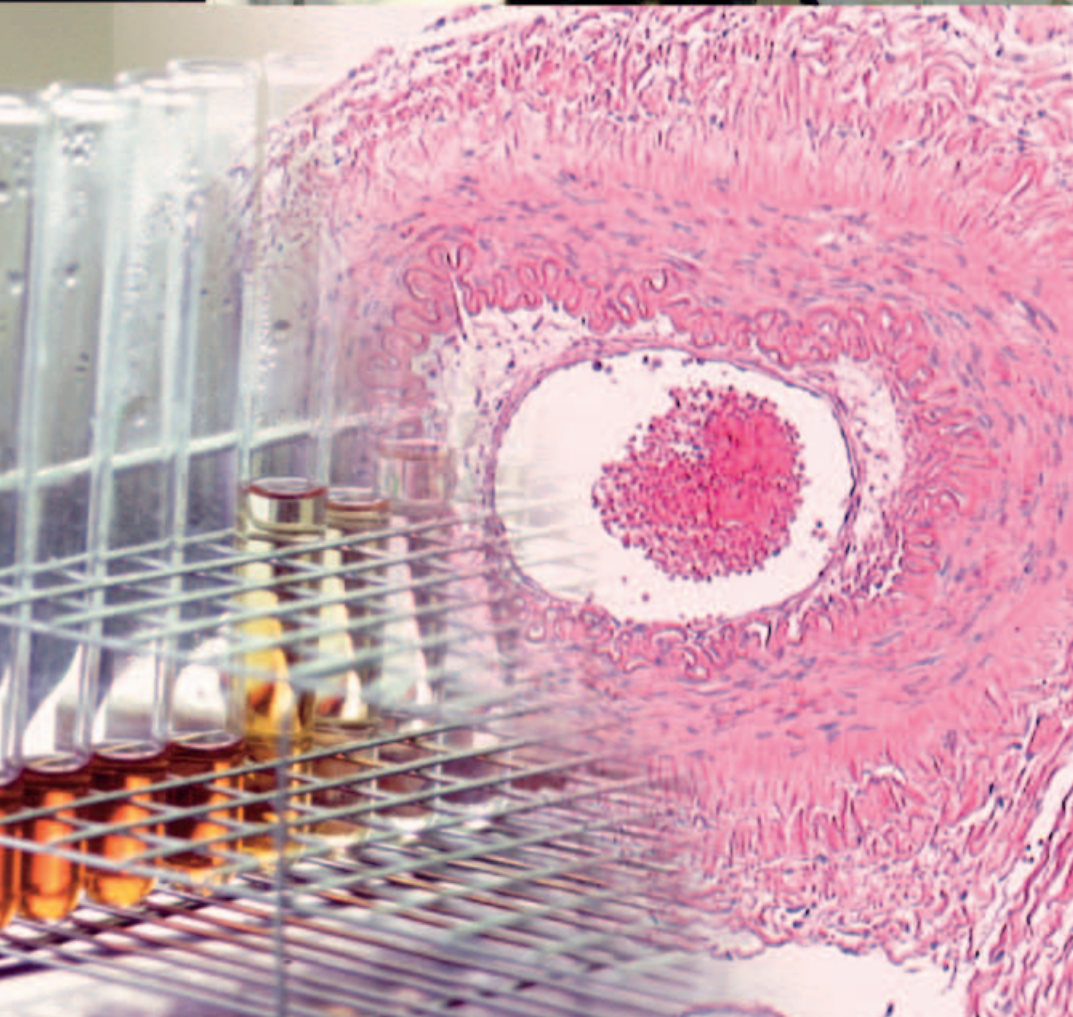
- 教育機関における指導者、地域医療の場におけるリーダーとなるべき人材を育成します。
- 疾病発生と環境との関わりを重視し、環境科学教育を行います。

講座紹介

機能系検査学講座

生体の情報及び機能を把握するための検体検査と患者を直接検査する生理学的検査について学びます。

生体の代謝機能を反映する検体成分(血液、尿、体液、組織など)を化学的な分析方法によって測定し、疾病の診断、病態の経過観察及び予防に役立てる科目を履修します。また、心電図、超音波、MRIなどの医療機器を駆使し、患者に苦痛を与えず、多くの生体情報を



把握して、治療方針、経過観察に役立つ生理学的な科目を履修します。

形態系検査学講座

生体を構成する臓器、組織、細胞の形態を観察し、異常と疾病の関係を理解し、異常を発見する検査技術及び理論を履修します。また、疾病をもたらす病原体や免疫反応と、それによって引き起こされる生体反応について理解を深めたり、血液学的検査や遺伝子工学等の手法を応用して、正確な病態情報を把握することによって、医療に役立つ科目を履修します。

- 検査センター
- 保健所
- 研究所、大学・企業研究室
- 大学院進学

取得可能な資格

- 臨床検査技師国家試験受験資格
- 健康食品管理士認定試験受験資格

卒業後は ...

進路

- 国公立病院、大学病院、診療所

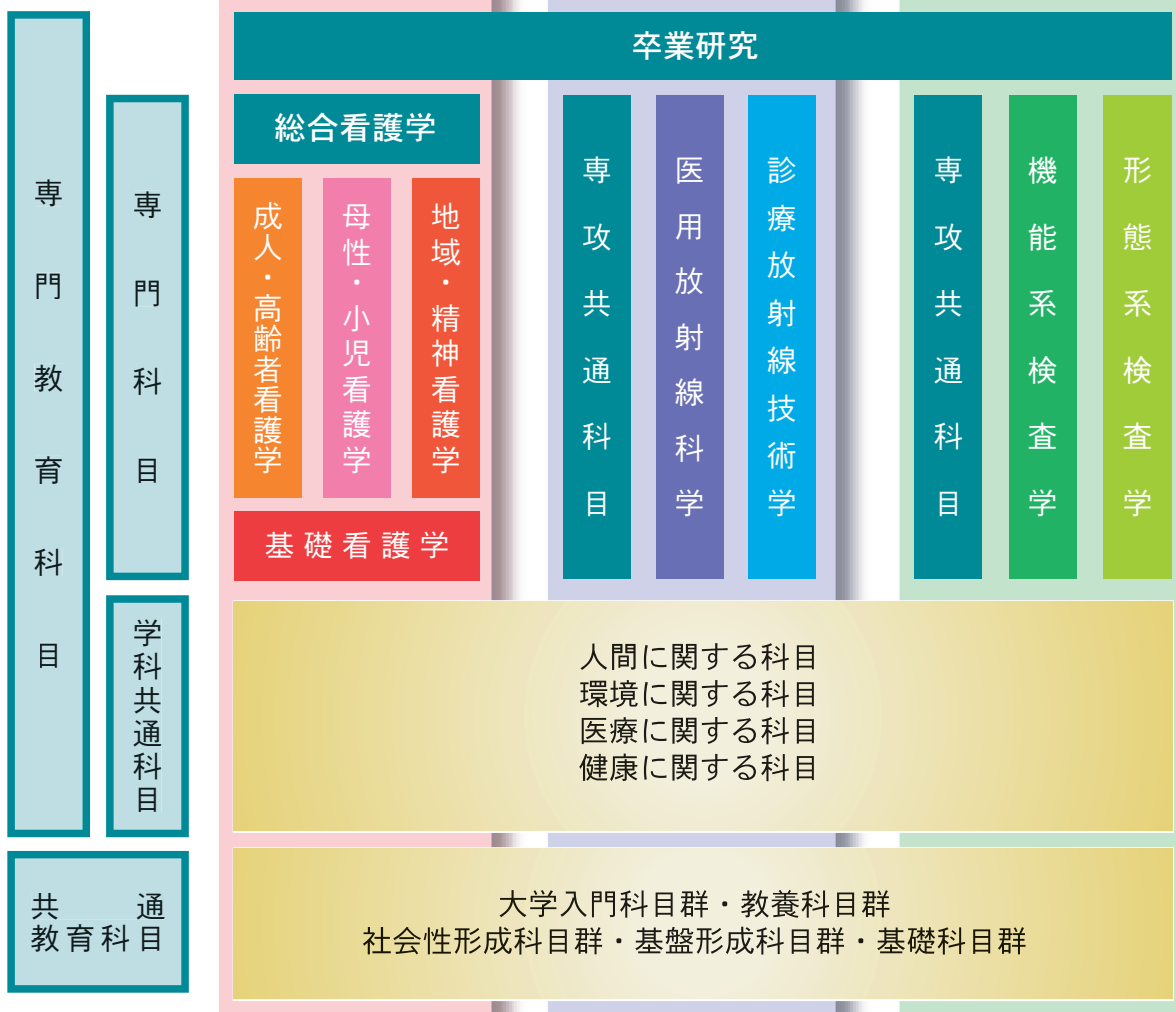


看護学専攻

放射線技術科学専攻

検査技術科学専攻

卒業後の 取得学位	学士(看護学)	学士(保健学)	学士(保健学)
受験 資格	看護師・保健師	診療放射線技師	臨床検査技師



ビデオ教材配信システム(VISUALEARN)を導入しています



マルチメディアコンテンツ利用による自習環境の整備

臨床技術向上のための人体モデルを医学部で共用しています



注射モデル、生体シミュレータなどを利用した実習

(VISUALEARNは医学映像教育センターの登録商標です)

専門教育科目

学科共通科目

専門科目・卒業研究

共通教育科目

○大学入門科目群

人間関係論
大学入門講座

○教養科目群

生化学Ⅰ
カウンセリング

歴史と文化
衛生学

人間と生命
保健学概論

生活と社会
ボランティア活動

自然と技術
放射線衛生学

○基盤形成科目群

救急医療論
英語

チーム医療論
ドイツ語

国際活動演習
フランス語

教育指導論
中国語

薬理学
情報科学

栄養学
○社会性形成科目群

精神保健
ウェルネス総合演習

免疫学Ⅰ
共創型学習

病理学Ⅰ
ヒューマンコミュニケーション

情報処理・統計学
情報処理・統計学演習

社会福祉概論
○基礎科目群

医療経済論
基礎数学

介護実習
基礎物理学

基礎化学
基礎化学実験

基礎生物学

人間関係論

生化学Ⅰ

カウンセリング

衛生学

保健学概論

ボランティア活動

放射線衛生学

救急医療論

チーム医療論

国際活動演習

教育指導論

薬理学

栄養学

精神保健

免疫学Ⅰ

病理学Ⅰ

情報処理・統計学

情報処理・統計学演習

社会福祉概論

医療経済論

介護実習

基礎物理学

基礎化学

基礎化学実験

基礎生物学

○基礎看護学

看護学概論, 看護理論, 看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, ヘルスアセスメント, 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ, リスクマネージメント, 看護栄養管理論

○成人・高齢者看護学

成人看護学概論, 成人援助論Ⅰ・Ⅱ, リハビリテーション看護論, がん看護論, 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ, 高齢者看護学概論, 高齢者援助論, 高齢者看護学実習

○母性・小児看護学

母性看護学概論, 母性援助論, 小児看護学概論, 小児援助論, 母性看護学実習, 小児看護学実習, 母児関係論, 子どものメンタルヘルス

○地域・精神看護学

精神看護学概論, 精神看護援助論, 精神看護学実習, 在宅看護学概論, 在宅看護援助論, 在宅看護学実習, 地域看護学概論, 地域看護援助論, 地域看護学実習, ケアマネージメント, 健康教育方法論, 学校保健論, 産業保健・看護論, 地域福祉・行政論, 健康管理論, 疫学, 家族看護学, ケアシステム論, 養護概説Ⅰ・Ⅱ, 健康相談活動, 養護実習

○総合看護学

原書講読Ⅰ・Ⅱ, 看護管理学, 看護教育学, 看護倫理, 国際看護活動論, 災害看護

○看護研究Ⅰ・Ⅱ

○医用放射線科学

放射線生物学, 放射線計測学, 同実習, 核医学計測学, 同実習, 画像基礎論Ⅰ, 同実習, 画像基礎論Ⅱ, 同実習, 医用画像情報学Ⅰ, 医用画像情報学Ⅱ, 制御システム工学, 同実習, 放射線機器工学Ⅰ, 放射線機器工学Ⅱ, 放射線機器工学実習, 医用画像機器工学, 同実習, 核医学検査機器工学, 放射線治療機器工学, 放射線物理学Ⅱ, 放射化学Ⅱ, 電子計算機工学演習, 生体計測工学, 医療情報システム工学, 保健物理学

○診療放射線技術学

先端医療と放射線, 画像解剖学Ⅰ, 画像解剖学Ⅱ, 診療画像学Ⅰ, 同実習, 診療画像学Ⅱ, 診療画像学臨床実習, 核医学技術学, 同実習, 同臨床実習, 放射線治療技術学, 同実習, 同臨床実習, 放射線腫瘍学, 関係法規, 放射線管理学, 同実習, 臨床技能実習

○専攻共通

形態機能論Ⅰ, 形態機能論Ⅱ, 形態機能論Ⅲ, 臨床医学概論, 画像病態学, 保健科学, 基礎医学実習, 放射線物理学Ⅰ, 放射化学Ⅰ, 放射化学実習, 応用数学Ⅰ, 応用数学Ⅱ, 電気電子工学基礎論・演習, 電気電子工学基礎論実習, 医用電気電子回路Ⅰ, 医用電気電子回路Ⅱ, 医用電気電子回路実習, 専門外国語, 情報活用演習, 医療情報処理学演習, 磁気共鳴学

○卒業研究

○機能系検査学

生化学Ⅱ, 生化学実習, 保健学, 環境衛生学, 保健環境学実習, 臨床化学, 同実習, 放射性同位元素検査技術学, 同実習, 生理学, 生理学実習, 生理検査学, 画像検査学, 生理検査学実習, 画像検査学実習, 臨床画像検査学, 分析化学

○形態系検査学

解剖学, 解剖学実習, 病理学Ⅱ, 病理学実習, 病理検査学, 同実習, 微生物学, 同実習, 医動物学, 同実習, 臨床血液学, 同実習, 免疫学Ⅱ, 免疫検査学, 輸血検査学, 免疫検査学実習, 輸血検査学実習, 遺伝学, 遺伝子検査学

○専攻共通科目

検査機器総論, 医用工学概論, 医用工学実習, 臨床医学総論, 臨床病理学総論, 臨床検査総論, 臨床検査総論実習, 検査管理総論, 医療法規, 電子計算機概論, 電子計算機概論実験, 専門外国語, 病態栄養と臨床検査, 健康食品学, 健康食品法規

○卒業研究

医用デジタル画像処理及び3次元画像可視化技術の演習



最新のデジタルX線システムを利用した実習

実習用リアルタイムPCR(遺伝子増幅定量)システムの導入



大腸菌などの遺伝子の定量解析法の技術を修得します

学生定員

専攻	入学定員*	収容定員	現員**
看護学	70 (10)	300	319 [287]
放射線技術科学	37 (3)	154	162 [39]
検査技術科学	17 (3)	74	81 [57]

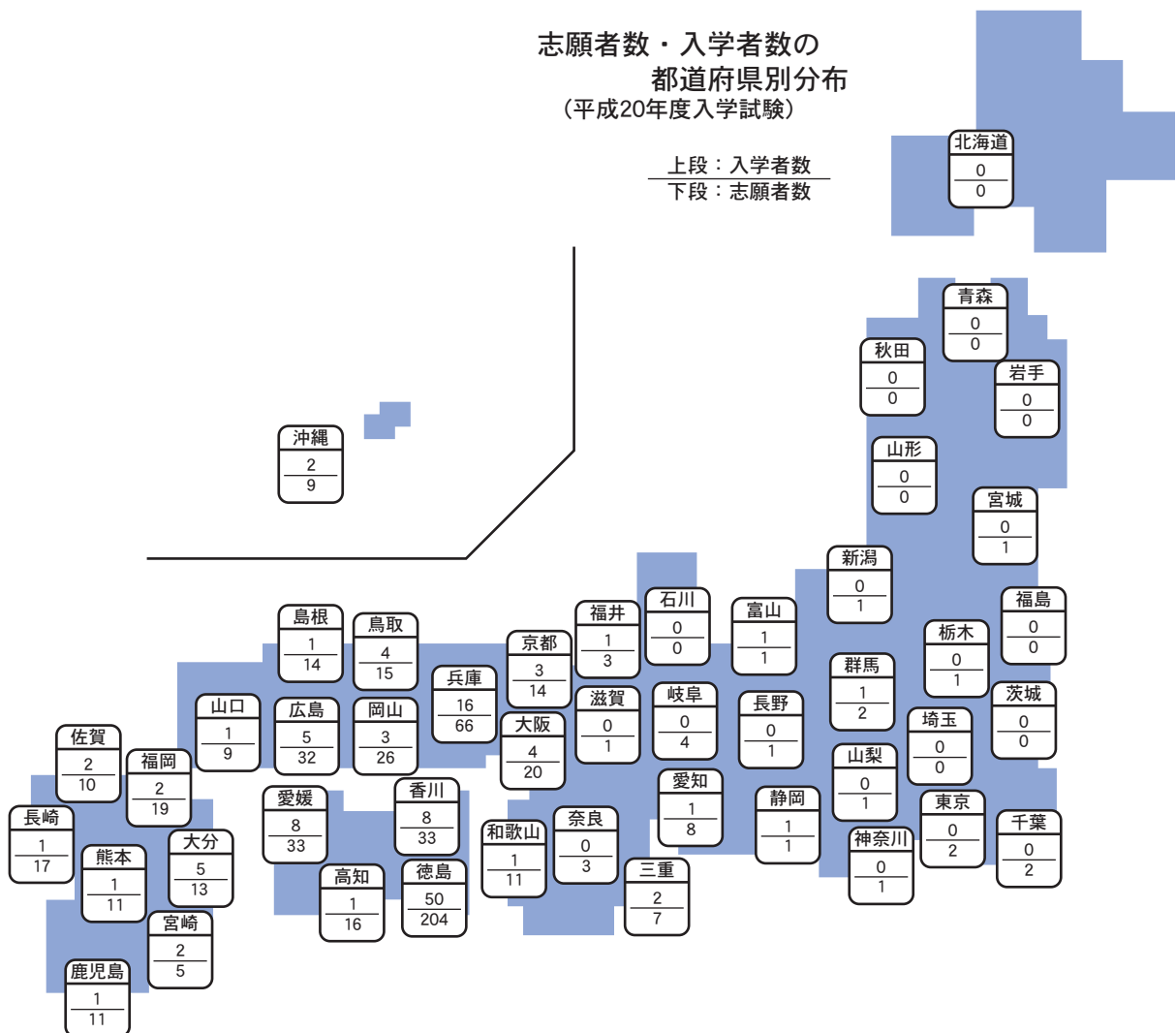
* () 内の数は、3年次編入学定員で外数です。平成16年度から受け入れています。

** 平成20年4月1日現在。[]内の数は、女子学生数を示し、内数です。

入学生地域別比率

志願者数・入学者数の
都道府県別分布
(平成20年度入学試験)

上段：入学者数
下段：志願者数



前期日程

専攻	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
看護学	40	134	3.4	110	2.8	41	36
放射線技術科学	21	92	4.4	83	4.0	23	23
検査技術科学	12	31	2.6	27	2.3	14	14

後期日程

専攻	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
看護学	10	194	19.4	99	9.9	11	11
放射線技術科学	8	101	12.6	48	6.0	8	8

推薦入学

専攻	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
看護学	20	38	1.9	38	1.9	20	20
放射線技術科学	8	19	2.4	19	2.4	8	8
検査技術科学	5	12	2.4	12	2.4	5	5

社会人特別選抜

専攻	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
看護学	若干名	7	—	7	—	3	3

3年次編入学

専攻	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
看護学	10	30	3.0	23	2.3	12	10
放射線技術科学	3	14	4.7	8	2.7	4	3
検査技術科学	3	2	0.7	2	0.7	2	2

- 平成20年度入学試験の結果です。
- 入学者特別選抜には上記以外に、帰国子女特別選抜、私費留学生の入学者選抜があります。

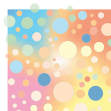
保健科学教育部保健学専攻[博士課程(前期・後期)]

理念

今日必要とされる医療に対し、保健学の各分野が協力して実地臨床に役立つ新しい知識を構築し、臨床応用を志向した教育・研究を推進することで、健康増進と疾病予防および高度医療・回復支援・生活支援を推進する。

目標

- 革新的な進歩に伴う多様化、高度化、専門化した医療環境に対応できかつ、生命の尊厳を重視し、健康増進を使命とする医療人の育成
- 急激な少子・高齢化社会に対応した保健・医療・福祉の充実のために貢献できる人材の育成や、地域社会との連携を保ちつつ、地域における保健・医療・福祉の多様なニーズに対応できる人材の育成
- 薬学・工学系などの関連分野と密接な連携を保ちつつ、時代に即した教育・研究を実践できる高度専門職業人の育成
- 高度先進医療や健康・医療に対するさまざまなニーズに対応するために、臨床応用を志向した、かつ健康増進と疾病の予防、医療、回復支援および生活支援に資する学問を推進、発展させることができる教育・研究者の育成
- 従来 of 学問の枠組みでは対応しきれない新しい医療に果敢に取り組み、保健学の立場をふまえ、新しい学問を構築できる教育・研究者の育成



[博士前期課程]の教育研究領域

看護学領域の概要

医療機関での高度な専門看護の実践者や地域の人々の健康支援者、教育・研究者を育成することを目指し、基盤形成支援看護学・社会回復支援看護学・地域生活支援看護学・こころの健康支援学の4つの専門分野からなっている。看護学と看護ケアの質の向上のために実践的・実証的教育研究の開発を通して地域社会に貢献することを目指す。

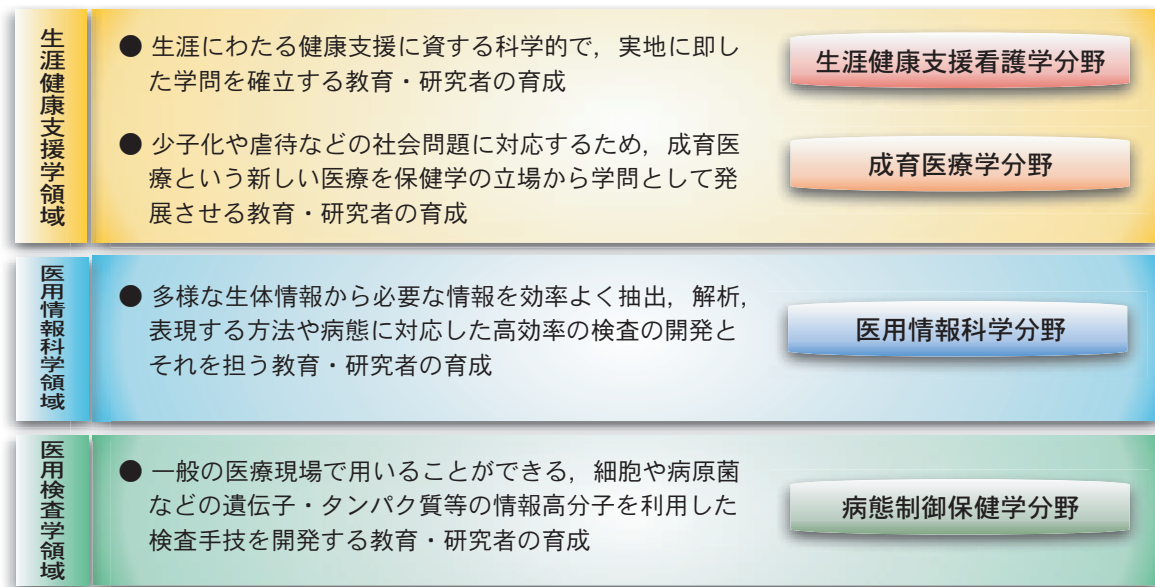
医用情報科学領域の概要

高度な画像診断・治療技術を修得し、技術革新に対応できる人材の養成を目指し、医用情報理工学分野と病態情報科学分野の2分野を設ける。絶えず進展する理学・工学を応用して先進医療機器の研究・開発を進めるとともに、放射線や電磁界を用いた生体情報の解析を行い治療技術の高度化に対応できる技能を有する人材育成を可能にする。さらに遠隔医療などの医療情報システムや病院情報管理システムの高度化に即応するための画像管理や情報システム管理能力を有する高度専門家の育成を行う。

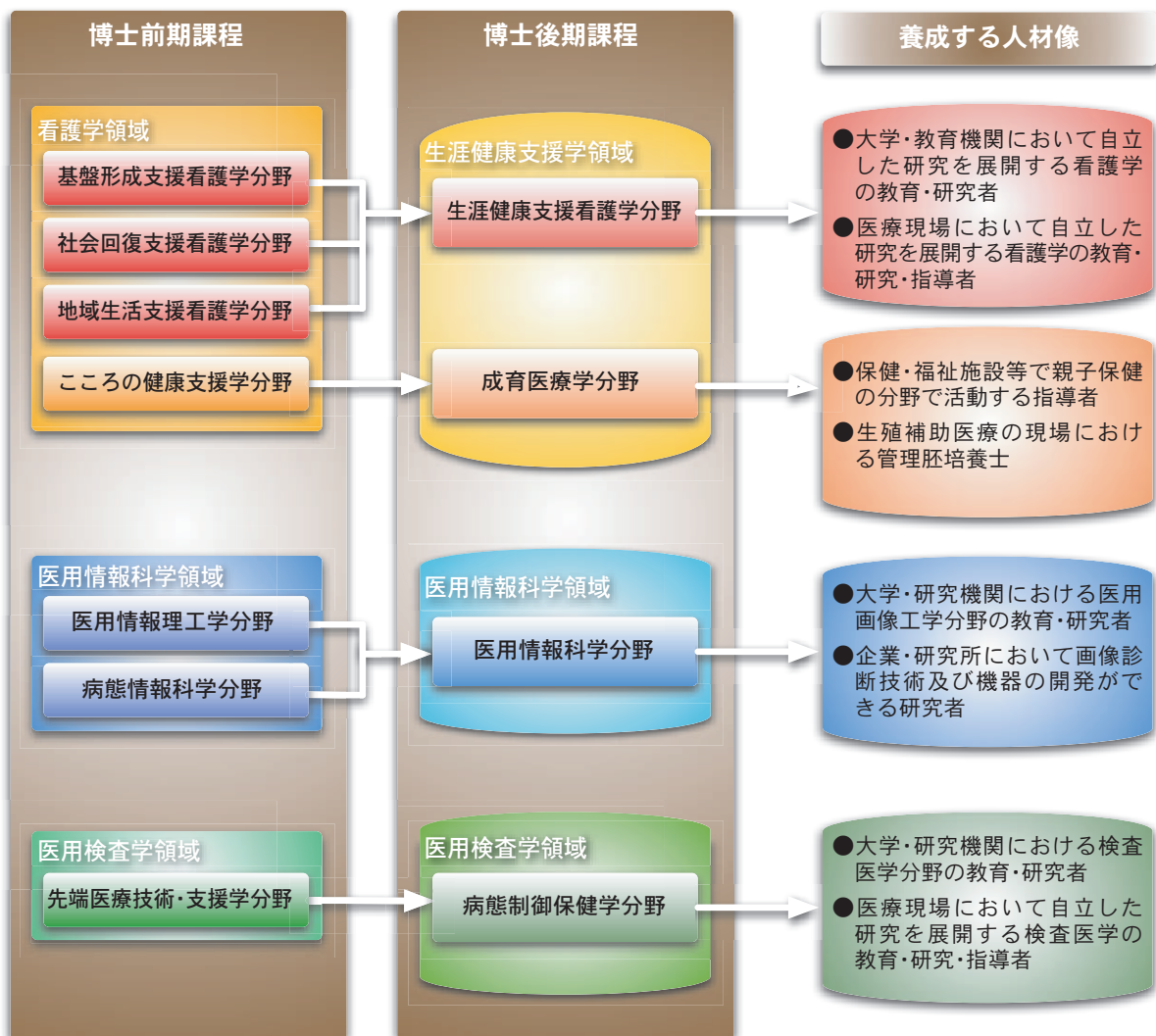
医用検査学領域の概要

医用検査学領域に先端医療技術・支援学分野を設ける。本分野では生体機能解析学・病態解析学の専門教育・研究を通して生理機能学的、病理・細胞学的、臨床化学的解析法に習熟した高度専門家の育成を行う。また、細胞・免疫解析学、感染防御遺伝子診断技術学、生殖補助医療学の専門教育・研究を通して分子遺伝学的手法による迅速・簡便・高精度検査法や、臨床現場での要請に即応した遺伝子診断や、細胞培養生殖補助医療など先端医療技術に習熟し、かつ生命倫理を尊重する高度専門家の教育を行う。

[博士後期課程]の教育研究領域



博士前期課程と博士後期課程の関係と養成する人材像



21世紀の助産スペシャリストをめざして！ Catch the Future with women, for a life time

2006年4月、国立大学として初めて看護教育修了後、専攻科での助産学教育を開始しました。

助産学専攻科では、多様な個性を尊重し、愛を通して、知と技を培い、優れた専門的能力を身につけ、進取の気風に富む人材を育成します。

また、専門職業人としての知の継承と創造に挑戦し、母子保健の発展に向けて、豊かな未来の創造に貢献します。

目的

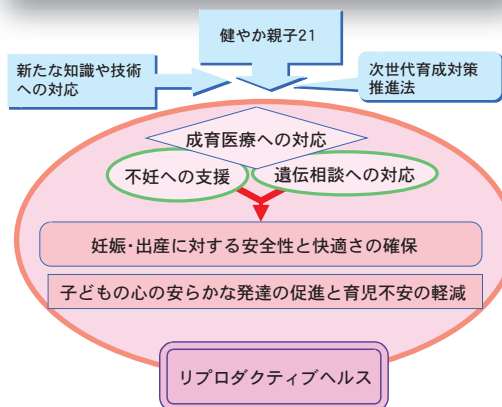
女性のライフサイクルの変化の過程に関わる助産実践に必須の判断能力と実践能力及び、徳島大学の教育理念のもとで人間性豊かな専門的能力を身につけ、母子保健の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

教育カリキュラム

助産の概念は、妊娠・出産・育児が健康な女性のライフサイクルにおける連続過程であるという枠組みに基づいています。

女性の生涯の健康をサポートするのみならず、家族及び地域に対して、次代のニーズに応じて不妊や遺伝に関する相談と教育ができる力を高めます。

リプロダクティブヘルスを基盤とした、助産教育カリキュラム



授業科目一覧

	授 業 科 目 の 名 称	単 位 数		履 修 方 法		
		必 須	選 択			
授 業 科 目 の 概 要	助産基礎領域	助産学概論	1		5単位以上	
		性と生殖の形態機能Ⅰ	1			
		性と生殖の形態機能Ⅱ		1		
		リプロダクティブヘルスと家族計画	1			
		生命科学与倫理		1		
	助産実践領域	女性と胎児の薬理学		1		25単位以上
		助産とエビデンス	1			
		妊娠期の診断とケア	1			
		分娩期の診断とケア	2			
		産褥・新生児期の診断とケア	1			
		地域母子保健学	1			
		助産管理	1			
		助産学実習Ⅰ	5			
		助産学実習Ⅱ	10			
		助産学実習Ⅲ		2		
		助産学実習Ⅳ		2		
		助産学研究	1			
	成育支援領域	親教育特論	1		4単位以上	
		不妊・遺伝カウンセリング	1			
周産期ハイリスクケア		1				
胎児・新生児学特論			1			
思春期支援論			1			
合 計		29	9	修了要件34単位		

助産師国家試験受験資格、受胎調節実地指導員の資格が得られます。

4

- 前期開始
- 春季休業終了
- 入学式
- オリエンテーション
- 新入生研修



5

- 五月祭



6

7

- 全日本学生選手権大会 (インカレ)
- 前期試験
- 四国地区大学総合体育大会

8

- 夏季休業開始
- オープンキャンパス
- 看護体験入学



9

- 介護実習
- 夏季休業終了
- 前期終了
- 3年次編入学試験
- 大学院保健科学 教育部入学試験



10

- 後期開始
- 助産学専攻科入学試験

11

- 大学祭
- 開学記念日



12

- 冬季休業開始
- 入学試験 (社会人特別選抜)

1

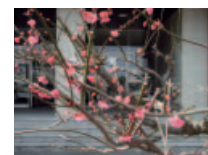
- 冬季休業終了
- 大学入試センター試験

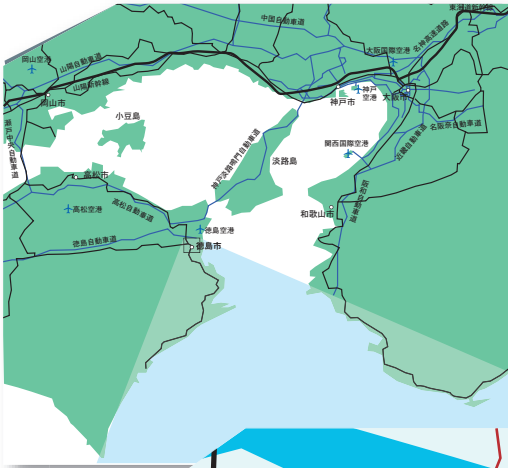
2

- 後期試験
- 入学試験 (推薦)
- 入学試験 (前期)
- 看護師国家試験
- 保健師国家試験
- 助産師国家試験

3

- 診療放射線技師国家試験
- 臨床検査技師国家試験
- 入学試験 (後期)
- 卒業式
- 学年末休業開始
- 後期終了





交通

飛行機

東京(羽田) — 徳島 1時間10分
 名古屋 — 徳島 1時間
 福岡 — 徳島 1時間25分
 (徳島 — 福岡 1時間40分)

鉄道

岡山 — 徳島(特急) 2時間10分

高速バス

京都 — 徳島 2時間45分
 大阪 — 徳島 2時間30分
 関西空港 — 徳島 2時間45分
 神戸(三ノ宮) — 徳島 1時間40分

フェリー

和歌山 — 徳島 2時間

JR徳島駅からの距離・交通手段・所要時間

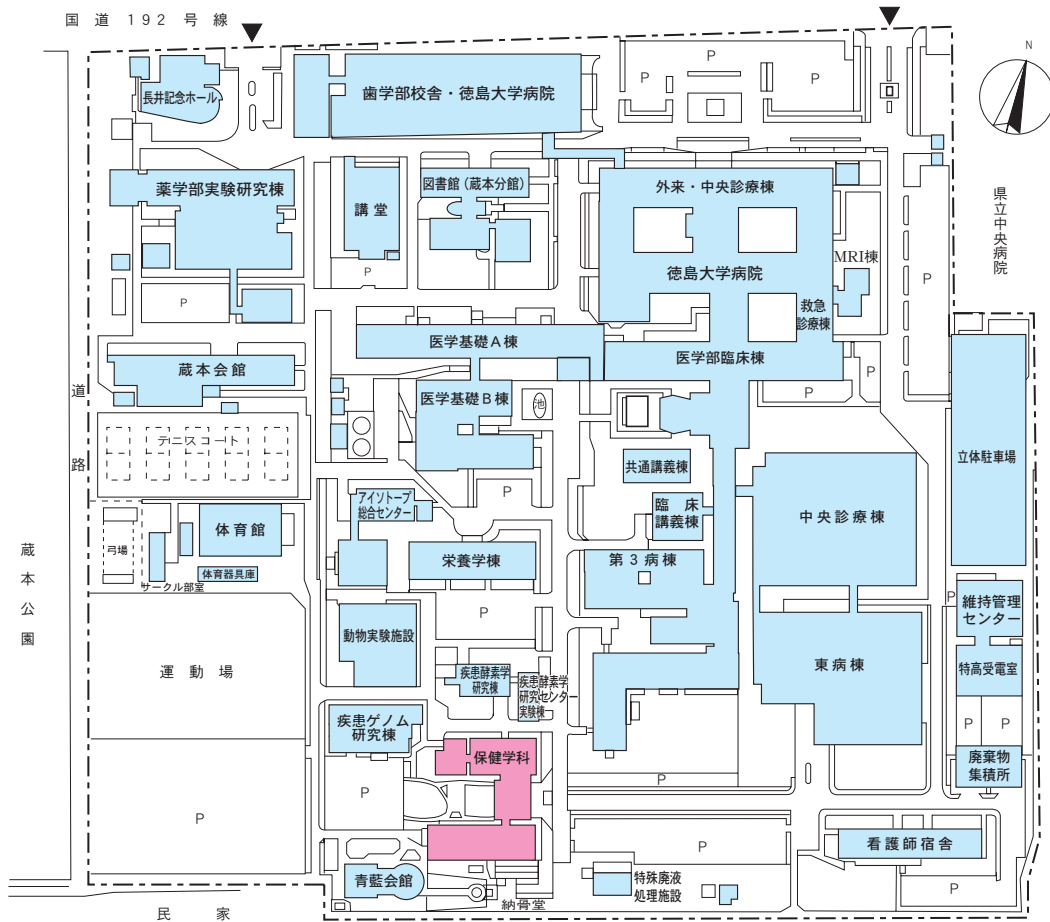
医学部保健学科(蔵本キャンパス)まで約4km

JR利用の場合 17分

JR徳島線蔵本駅下車徒歩10分

バス利用の場合 25分

徳島駅前より徳島市営バス「循環バス右回り」、「上
 鮎喰」行、「地藏院」行又は「名東」行に乗りし、「中央
 病院, 大学病院前」又は「医学部前」下車徒歩6分





徳島大学蔵本キャンパスの航空写真。2つの矢印が画像上で交差するところの建物が保健学科棟です。

徳島大学医学部保健学科

〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15

<http://portal.medsci.tokushima-u.ac.jp:8200/>

お問い合わせは、

徳島大学医学・歯学・薬学部等総務課第一総務係

Tel.088-633-9006 Fax.088-633-9028

E-mail: isysoumu1k@jim.tokushima-u.ac.jp

入試関連のお問い合わせは、

徳島大学医学・歯学・薬学部等学務課第四教務係

Tel.088-633-9009 Fax.088-633-9431

E-mail: isygakumu4k@jim.tokushima-u.ac.jp